

平成 26 年度第 2 回（第 9 期第 4 回）浦安市廃棄物減量等推進審議会（議事要旨）

1 開催日時 平成 26 年 9 月 26 日（金）午後 2 時 00 分～午後 4 時 00 分

2 開催場所 消防庁舎 3 階大会議室

3 出席者

（委員）

下田会長、三枝委員、道下委員、大川委員、
扇谷委員、島野委員、崎野委員、手塚委員

（事務局）

長峰都市環境部長、大塚都市環境部次長、熱海ごみゼロ課長、
熊木ビーナスプラザ所長、奥山課長補佐、亀山係長、三上副主査

4 議題

(1) 諮問事項について

ア 事業系一般廃棄物の発生抑制について

イ 廃棄物減量等推進員制度の在り方について

(2) その他について

スマートフォン対応ごみ分別アプリ「クルなび」について

5 議事の概要

(1) 事務局よりそれぞれの項目について説明。各委員より意見、要望等を伺う。

(2) 事務局より各種お知らせ及び今後のスケジュールについて説明。

6 会議経過

浦安市廃棄物減量等推進審議会規則第3条第1項により、審議会会長を議長とし、以降会長が議事を進行した。

(1) 諮問事項について

事務局より、改めて諮問事項の趣旨についての概要を説明し、前回の審議会で交わされた意見についても紹介した。

《事業系一般廃棄物の発生抑制について》

事務局 事業系ごみについては前年度よりも増加しており、その対策が必要である。

しかし、事業系ごみの対策を行う上で問題となるのが「事業系ごみの定義が曖昧であること」と「家庭系ごみとの線引き」である。事業系ごみは現状、多量排出事業者と少量排出事業者の2種類であるが、その間の事業者の位置付が不明確である。さらに、多量排出事業者については明確な定義があるが、少量排出事業者の定義があやふやである。そして家庭系ごみとの線引きであるが、これは店舗併用住宅のように事業系ごみと家庭系ごみが混在する場合に問題となる。

現在、市では、こうした問題を解決するためにNTTからの情報を元に、事業者台帳を整理している。年度内には完成させる目標を立てている。

《廃棄物減量等推進員制度の在り方について》

事務局 各自治会より最低一名選出してもらい、市のごみについての連絡会・研修会などを通じて各地域のごみの減量を図っている。市が求めている推進員の役割は「不適正箇所の監視・パトロール」、「高齢者・障がい者(生活弱者)などのサポート」、「出前講座(出前ビーナス)への協力」などであるが、現実との間にギャップがあるのが事実であり、解決するためには「推進員さんの責務(位置づけ)が不明確」、「自治会の規模にかかわらず委嘱人数が同じ」、「選出方法が自治会長からの推薦のみ」といった問題が挙げられる。こうした問題を解決し、理想とのギャップを埋めていきたい。

会 長 今回の説明に対して、質問・ご意見はあるか。ただし、事務局側で少量事業系ごみ対策については、事業者台帳の整理をまさに今行っているということなので、事業系ごみに対する議論はその報告を待つものとし、今回のテーマは「推進員について」としたい。

委 員 ビーナズ推進員はもっと活動すべき。しかし、ビーナス推進員の知名度が低く、活動したくても出来ない人たちがいる。自治会の役員でさえ推進員の役割を全く理解しておらず、自治会によっては、資源回収補助金の手続きをするだけの役割となっているのではないか。「ビーナス推進員」という名称に問題があるのではないか。ビーナス推進員では役割が不明確である。たとえば、クリーン推進員など、わかりやすい名前に変えたらどうか。

委 員 当該自治会でも同様である。自治会内のイベントでは、重要な問題であるはずのごみよりも、イベントのテーマなどが最優先で、ごみの話が後回しになってしまう。推進員のメンバーを市民公募にするのはとてもいい。ごみに一番身近なのは主婦世代である。そうした世代が推進員となるのが望ましい。

事務局 推進員の名称については、「ビーナス計画」という市のごみ減量への思いが込められている。名称についてはご理解いただきたい。

委 員 そもそも推進員となる者のモチベーションも大事である。そうしたモチベーションがある人々をどうやってピックアップしていくかが大事。たとえば市内にある環境団体の人々を中核にし、推進員の上部組織を作って活動させるなどはどうか。

委 員 ビーナズ推進員だけの会議はやらないのか。ビーナス推進員だけのイベントも面白い。元町・中町・新町の代表推進員による会議などはどうか。

委員 推進員の位置づけを明確にするということについて、理想の推進員像を実現するためには、条例などの紙に書かれている以上のことを明確にしていなくてはいけない。

委員 持ち回りではなく、副会長や会長に推進員をやらせるのも案としてどうか。ただの自治会員が指導するよりも効果的だ。

委員 推進員一人では大変。二人以上いれば活動しやすく、また推進員のモチベーションの維持にもつながる。

事務局 いただいたご意見を基に調査や検討を行うとともに、次回までに委員それぞれの案を持ち寄ることとする。

(2) その他について

《スマートフォン対応ごみ分別アプリ「クルなび」について》

委員 いちいちパソコンを開かなくていいので、非常に使い勝手がいい。これを使った情報周知もいいのではないか。

事務局 本アプリでは、最新情報をリアルタイムで流せる機能もついている。この機能については、積極的に利用していく。

会長 他にご意見はないか、なければ本日の審議は終了したい。